



令和2年度大学機関別認証評価の評価結果について

令和2年度に受審した大学機関別認証評価について、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構より令和3年3月25日付けで評価結果を受領しました。

大学機関別認証評価においては、大学評価基準に定められた基準ごとに、自己評価書の内容の分析及び必要な事項の確認（書面調査）並びに訪問による実地調査（訪問調査）を踏まえ、その基準を満たしているか否かが判断されます。今回、本学については以下のとおり判断されました。

秋田大学の教育研究等の総合的な状況は、大学改革支援・学位授与機構が定める大学評価基準に適合している。

なお、以下の基準については「改善を要する」とされております。

- 医学系研究科修士課程医科学専攻において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。（基準5-3）
- 休講情報等、授業を受けるにあたって必要な情報を学生に周知する方法が統一されていない。（基準6-5）

評価結果において、改善を要する点として指摘された事項がある場合には、当該の指摘への対応状況に係る報告を行う旨「大学機関別認証評価自己評価実施要項」等に定められています。

このため、令和3年6月に大学改革支援・学位授与機構へ以下のとおり報告しました。

■基準5-3

令和3年度から医学系研究科と理工学研究科の間で、研究科等連係課程実施基本組織である先進ヘルスケア工学院の運用が始まり、医科学専攻の定員5名の内の3名が同工学院で活用されることとなった。その結果、令和3年度からの医科学専攻の入学定員は2名となり、同年2名が入学したため入学定員充足率は100%であったが、平成29年度から令和3年度までの5年間における入学定員充足率の平均は32%であり、現時点で改善された状況にあると判断できない。

■基準6-5

指摘事項に対し、新たに「休講等授業連絡方法に関する取扱いについて」を制定し、全教員に周知徹底を行った。また、令和3年度前期授業科目の担当教員全員に、学生への連絡方法に関する調査を実施し、同制定どおり学生への連絡が適切に行われていることを確認するとともに、その調査結果を「科目別休講等連絡方法一覧表」としてまとめ、ポータルサイトである秋田大学総合学務支援システム(a-net)へ掲載し、学生・教職員の双方で科目別の連絡方法が確認できるよう改善を行った。

さらに、指摘事項に対する改善状況を、内部質保証委員会において確認した。

対応の状況が確認され、その旨が公表された事項以外については、今後も報告を行っていきます。

なお、評価報告書（全文）については、秋田大学ウェブサイトに掲載しております。

https://www.akita-u.ac.jp/honbu/info/in_check.html

第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価結果について

令和3年6月30日に国立大学法人評価委員会から「第3期中期目標期間（4年目終了時評価）に係る業務の実績に関する評価結果」が公表されました。評価結果の概要は次のとおりです。

なお、評価結果の全文は秋田大学ウェブサイト (http://www.akita-u.ac.jp/honbu/info/in_check.html) に掲載しております。

教育研究等の質の向上の状況

(Ⅰ) 教育【中期目標の達成に向けて順調に進んでいる】

- ・「教育に関する目標」に係る中期目標（中項目）4項目のうち、4項目が「順調に進んでいる」であり、これらの結果に学部・研究科等の現況分析結果（教育）を加算・減算して総合的に判断された。

(Ⅱ) 研究【中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる】

- ・「研究に関する目標」に係る中期目標（中項目）2項目のうち、1項目が「計画以上の進捗状況にある」1項目が「おおむね順調に進んでいる」であり、これらの結果に学部・研究科等の現況分析結果（研究）を加算・減算して総合的に判断された。

(Ⅲ) 社会連携及び地域【中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる】

- ・「社会との連携や社会貢献及び地域を志向した教育・研究に関する目標」に係る中期目標（小項目）2項目のうち、1項目が「進捗している」1項目が「十分に進捗しているとはいえない」であり、これらが総合的に判断された。

(Ⅳ) その他【中期目標の達成に向けて順調に進んでいる】

- ・「その他の目標」に係る中期目標（中項目）1項目のうち、1項目が「順調に進んでいる」であり、これらが総合的に判断された。

業務運営・財務内容等の状況

(1) 業務運営の改善及び効率化【中期目標の達成に向けて順調に進んでいる】

- ・中期計画の記載11事項全てが「中期計画を上回って実施している」又は「中期計画を十分に実施している」と認められるとともに、下記の状況等が総合的に勘案されたことによる。

（法人による自己評価と評価委員会の評価が異なる事項）

中期計画【53】については、教員（承継職員）について、平成28年度にその10%（約60人）を年俸制に移行するとともに、平成29年度以降はその割合を維持するとしているが、平成28年度において7.9%にとどまっており、令和元年度には19.5%となっており、「中期計画を十分に実施している」と認められるが、当該計画を上回って実施しているとは認められないと判断した。

(2) 財務内容の改善【中期目標の達成に向けて順調に進んでいる】

- ・中期計画の記載4事項全てが「中期計画を上回って実施している」又は「中期計画を十分に実施している」と認められること等が総合的に勘案されたことによる。

(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供【中期目標の達成に向けて順調に進んでいる】

- ・中期計画の記載2事項全てが「中期計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

(4) その他の業務運営に関する重要目標【中期目標の達成に向けて順調に進んでいる】

- ・中期計画の記載7事項全てが「中期計画を十分に実施している」と認められること等を総合的に勘案したことによる。

【参考】

国立大学法人評価委員会は中期目標の達成状況を、項目別に次の6段階により評定する。

「中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある」

「中期目標の達成に向けて計画以上の進捗状況にある」

「中期目標の達成に向けて順調に進んでいる」

「中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる」

「中期目標の達成のためには遅れている」

「中期目標の達成のためには重大な改善事項がある」

【参考】第3期中期目標期間（4年目終了時評価） 全国国立大学法人等 項目別評価結果

教育研究等の質の向上の状況

| 評価区分 | 評価項目別法人数（全90法人） 黄：秋田大学の評価 | | | | | |
|-------------------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| | 教育 | 研究 | 社会連携・地域 | その他 | 共同利用・共同研究 | 教育研究等の質の向上 |
| 中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある | 2 (2%) | 18 (20%) | - | 2 (2%) | - | - |
| 中期目標の達成に向けて計画以上の進捗状況にある | 18 (20%) | 32 (36%) | 32 (36%) | 21 (23%) | 4 (100%) | - |
| 中期目標の達成に向けて順調に進んでいる | 59 (66%) | 33 (37%) | 49 (56%) | 66 (73%) | - | 1 (100%) |
| 中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる | 10 (11%) | 6 (7%) | 7 (8%) | 2 (2%) | - | - |
| 中期目標の達成のためには遅れている | - | - | - | - | - | - |
| 中期目標の達成のためには重大な改善事項がある | - | - | - | - | - | - |

※各欄の（ ）内は、全法人数に占める当該法人数の割合

※評価項目の構成は各法人によって異なるため、それぞれの合計は必ずしも一致しない

業務運営・財務内容等の状況

| 評価区分 | 評価項目別法人数（全90法人） 黄：秋田大学の評価 | | | |
|-------------------------|---------------------------|-------------|-------------|-------------|
| | 業務運営 | 財務内容 | 自己点検・情報提供等 | その他 |
| 中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある | 5 (6%) | 4 (4%) | 1 (1%) | 5 (6%) |
| 中期目標の達成に向けて計画以上の進捗状況にある | 13 (14%) | 18 (20%) | 6 (7%) | 13 (14%) |
| 中期目標の達成に向けて順調に進んでいる | 57 (63%) | 66 (73%) | 83 (92%) | 64 (71%) |
| 中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる | 10 (11%) | 1 (1%) | - | 5 (6%) |
| 中期目標の達成のためには遅れている | 4 (4%) | 1 (1%) | - | 3 (3%) |
| 中期目標の達成のためには重大な改善事項がある | 1 (1%) | - | - | - |

※各欄の（ ）内は、全法人数に占める当該法人数の割合

国立大学法人秋田大学の中期目標・中期計画及び令和3年度年度計画について

中期目標・中期計画及び年度計画に関する下記の事項については、大学ホームページ (http://www.akita-u.ac.jp/honbu/info/in_target.html) に掲載しております。

- ・「国立大学法人秋田大学が達成すべき業務運営に関する目標（中期目標）」
(令和3年3月9日 文部科学大臣変更提示)
- ・「国立大学法人秋田大学の中期目標を達成するための計画（中期計画）」
(令和3年3月18日 文部科学大臣変更認可)
- ・「中期目標・中期計画一覧表」 (令和3年3月18日現在)
- ・「国立大学法人秋田大学令和2年度の業務運営に関する計画（年度計画）」 (令和3年3月22日届出)

令和3年度評価・IRセンターの活動について

1. 評価に関する取組

1) 中期目標・中期計画関係

①評価・IRセンターが担当している令和3年度年度計画を実施する。

※中期計画【57】「地域や社会の要請が高い分野の人材を育成するため、学長のリーダーシップの下で活動する評価・IRセンター及び大学戦略室においてIRを用いた分析等を行い、教育研究組織や人員配置等の見直しを行う。」

※中期計画【64】「中期目標・中期計画を確実に遂行するため、評価・IRセンターにおいて自己点検・評価を継続的に行うとともに、学内の各種情報を集約化のうえ、大学ポータル上に公開する。また、本学が抱える課題を分析のうえ、その内容を役員ミーティングや大学運営会議に諮り、学長のリーダーシップの下、業務改善や教育研究の質の向上に関する企画の実施などを通じて大学運営に活用する。」

②令和2事業年度業務の実績報告書の作成、令和3年度年度計画策定及び進捗状況の確認と第3期中期目標期間終了時評価に向けた報告書の作成、第4期中期目標期間における中期目標・中期計画の策定等のための取りまとめを行う。

2) 認証評価・内部質保証関係

令和2年度に受審した大学機関別認証評価結果を踏まえ、改善・指摘事項に関する内容について改善・向上を図るとともに、教育研究活動の有効性の検証、改善・向上計画等の進捗状況を継続的に点検・評価し、内部質保証を実施する。

2. IRに関する取組

1) 大学戦略室と連動し、学内外の情報を活用し大学運営に資するIR分析等を実施する。

2) 教員活動評価や大学情報データベース等を活用した部局評価等について検討する。

3. 広報活動

1) センター活動報告を発行する（電子媒体）。（令和3年度末）

2) センター広報を発行し、大学評価・IRに関わる各種情報を提供する。（随時）

4. その他

上記以外に評価・IRに関する活動を適宜行う。

評価・IRセンター 総務企画課評価・IR室 スタッフ紹介

<評価・IRセンター>

センター長 長縄 明大 副学長（評価・IR担当）・理工学研究科教授

センター専任教員 細川 慎二 助教

教学IR部門長 長縄 明大 副学長（評価・IR担当）・理工学研究科教授

研究IR部門長 伊藤 慎一 産学連携推進機構准教授・総括URA

運営IR部門長 佐々木 直樹 総括主査（評価・IR室長）

<総務企画課評価・IR室>

室長 佐々木 直樹

主査 進藤 大輔

主任 山方 遥 吉田 美香子

事務職員 森 祐美 紺野 千寿

広報へのご意見などは評価・IRセンターへ

TEL: 018-889-2206（総務企画課評価・IR室） / FAX: 018-889-2939 / E-mail: sokikaku@jimu.akita-u.ac.jp